

会 議 録

会議名	令和元年度 第1回福生市環境審議会	
日 時	令和元年7月30日(火) 午前10時30分～12時00分	
場 所	福生市役所第2棟4階 議会会議室	
出席者	委員等	小倉会長、祖父江副会長、上村委員、原委員、横田委員、山下委員、千葉委員
	事務局	久保生活環境部長、田村環境課長、守屋環境係長、名取環境係主査
欠席者	田村委員、野村委員、畠瀬委員	
議 題	<p>議事</p> <p>(1) 第9期会長、副会長の選任について</p> <p>(2) 福生市環境基本計画実行計画(平成30年度実行計画進捗状況)について</p> <p>(3) 福生市環境基本計画実行計画(令和元年度実行計画)について</p>	
報 告	環境基本計画改定委託について	
公開・非公開の別	公開	
配布資料	<p>① 福生市環境審議会委員名簿</p> <p>② 平成30年度福生市環境基本計画実行計画評価一覧</p> <p>③ 福生市環境基本計画実行計画(平成30年度実行計画進捗状況)</p> <p>④ 福生市環境基本計画実行計画(令和元年度実行計画)</p>	
会議内容	<p>1 職員紹介</p> <p>事務局 環境係</p> <p>(新) 新妻 大典 (介護福祉課介護保険係主事)</p> <p>(旧) 住友 健吾 (道路下水道課道路G主任)</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>(新) 原 紀子 委員</p> <p>(旧) 杉森 侑 委員</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>4 議事</p> <p>議案1 第9期会長、副会長の選任について</p> <p>会長：小倉紀雄 委員(東京農工大学名誉教授)</p>	

副会長：祖父江重夫 委員（市民の代表）

※環境審議会規則第4条第2項により互選

議案2 福生市環境基本計画実行計画（平成30年度実行計画進捗状況）について

【事務局より説明（概要）】

- 環境基本計画推進のため、実行計画の確認調査を行った。
- 実施評価は98事業中90.8%にあたる89事業が「実施できた」のA評価。「おおむね実施できた」のB評価は9事業で9.2%。
- 指標評価は、①「順調に進んでいる」が全24項目中、7項目で29.2%。②「ほぼ順調」は8項目で33.3%。③「多少低調気味」は4項目で16.7%。④「低調」は無し。⑤「評価せず」は5項目で20.8%。評価一覧から環境基本計画実行計画は概ね順調に進んでいると考えられる。
- 環境基本計画実行計画平成30年度進捗状況については、新規事業とレベルアップ事業を中心に説明。

【質疑】

（委員）

F-e 監査の具体的なやり方は？

（事務局）

監査チームのメンバーが事前に書面調査（エネルギー使用量の去年との比較、PRしたい取組等）し、その部署に対して質問をチームごとに考えてもらい監査を実施する。

（委員）

結果をシートに出し、中身が不明確だったり裏付けが知りたい場合は質問するのか。

（事務局）

質問する。

（委員）

No.54「福生市環境マネジメントシステム（F-e）」のCO2の排出量だが、原単位のようなものを東京都は使っていて個別の数値を使っているのか。使用した電気の量などの計算はどのようにしているのか。

（事務局）

No.54の管理指標の所に「市有施設の温室効果ガス排出量」が出ている。第2期中期実施計画の中にも記載されている。地球温暖化対策実行計画に基づき、令和2年度に目標値になることを計画している。年4回報告していただき、1年間の温室効

果ガス排出量を計算している。目標値になかなか追いつかない状況。

(委員)

No.53 の管理指標「市民一人当たりの CO2 排出量」はどういう計算になるのか。

(事務局)

オール東京 62 市区町村共同事業の「みどり東京温暖化防止プロジェクト」では、多摩地域の温室効果ガス排出量を毎年計算し、公表している。福生市の排出量はその数値を活用している。平成 28 年 1 月 1 日時点の福生市の人口で割り、一人当たりの CO2 を算出した。

(委員)

その機関の計算対象は電気、ガス、ガソリン等、どんな項目が入っているのか？

(事務局)

詳しい事は手元ではわからないが、電気、ガスは対象と思う。

(委員)

灯油やガソリン等は市で区切れない。隣町でガソリンを入れた場合はどうしているのか。

(会長)

多摩地域のオール東京 62 市区町村のデータを毎年使っているが、これは少し年度が遅れているのか。

(事務局)

現時点でわかるのが平成 28 年度の数字である。対象となるエネルギーは確認しておく。

(委員)

No.19「外来生物防除委託」のレベルアップは今まで同じ事業をやっていたが外来種の数が多くなったのでそれを評価するというのでいいのか。事業は以前も行っていたのか。

(事務局)

これまで定点に罠を設置していたが、市民相談もあり、市民宅も対象に実施し数が増えた。定点だけの時は年に 15 頭前後の捕獲数だったが、市民対応を始めたところ 42 頭捕獲できた。

(委員)

今後も継続していくのか。

(事務局)

「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に福生市も同意し、実施している。東京都でも広域で取り組むことが大事

だということ働きかけている。

平成 29 年度までは 15 頭前後だった。委託業者によると減少はなかなか見込めないとのこと。最大限捕獲をお願いし平成 30 年度は 42 頭捕獲した。今後もできるだけ捕獲していきたい。

(委員)

すごい数だから継続して実施しなければならないであろう。檜原村は空き家が多く、そこを巣にして増えている。場所が空けば移動してくるから、たちごっこのようになる。

(委員)

福生市だけが一生懸命にやってもなかなか効果が上がらない。

(事務局)

福生市はあきる野市に次いで 2 番目に実施した。今現在東京都では 18 区 15 市で実施している。

(委員)

近隣の状況は？

(事務局)

羽村市は参加していない。昭島市、武蔵村山市、瑞穂町も実施している。

(委員)

ハクビシンやアライグマは自然の中だけでなく空き家に入るのか？

(事務局)

天井裏とか空き家はいいねぐらになる。ピーナツバターパン、キャラメルコーンがよく罠にかかるという報告を受けている。何でも食べる。

(委員)

市民から通報がくるように声をかけないといけない。

(事務局)

定期的に広報で目撃情報の依頼を周知している。

(委員)

あまり市民に深刻感がない。

(会長)

市民の情報も大事なことだ。定点だけでなく、レベルアップしていただければと思う。

新規事業の No.40「公共施設等の緑化」は評価が B になっている。「第三小学校増築事業で緑化を検討したが、敷地が手狭

であることから工事内容に緑化を含めないこととなった」ので評価が B になったのか。

(事務局)

当初の想定より建物が面積を取り、給食の車がスムーズに通行するためには緑化スペースが取れなくなったと聞いている。

議案 3 福生市環境基本計画実行計画（令和元年度実行計画）について

【事務局より説明（概要）】

- 環境基本計画実行計画令和元年度実行計画については、新規事業とレベルアップ事業を中心に説明。クビアカツヤカミキリの説明。

【質疑】

(委員)

No.61 新規の「省エネルギーの促進、クリーンエネルギーへの転換」について、翌年度計画に「終了」とあるが？

(事務局)

今年度終了の予定である。

(委員)

水撒きの水が何トンくらいかなど、具体的な数値目標はあるのか？

(事務局)

毎年各施設で水道使用量の目標値をあげている。今年度は工事中だが来年度は工事が完了しているのでそれを見込み水道水の使用量の目標値を下げ目標値に向かって使用量を抑えるという流れになる。

(委員)

イメージ的にこれくらい下がるというのではなく、予算を取る時にきちんと計算して出さないと目標数値にならない。(数値を)表に入れておかないと責任の所在がはっきりしない。数値目標を入れた方が絶対いい。

(会長)

コメントをいただいたので是非参考にさせていただきたい。

(委員)

No.53 「地球温暖化対策の枠組みの明確化」の「市民一人当たりの CO2 排出量」目標値が現実とずいぶん乖離があるが、元年度の施策を全部できた場合の CO2 の排出量を予想しているのか。

(事務局)

そこまでは捉え方が難しい。市民は民生家庭部門の CO2 になるので数字が捕まえづらい。

(委員)

例えば目標値約 800、基準値が約 1,200 なので市民が基準値から 3割くらい減らさないといけない。できる事からやろうというのは大事なことだが、自分がこうしたらどの辺の立ち位置に行くのかという予測があればわかりやすいのではないか。工夫したら間接的に効果が上がるのではないか。

(会長)

例えば電気、ガスの使用量を市民が削減した場合、何人が 1割削減したら何 g の CO2 を削減できるというような具体的な数字を提示したらよいのではという意見だと思う。

(事務局)

過去に『かんきょう通信』で家庭の CO2 削減呼びかけた時、家庭でこんな節約をしたらこれくらい減るという PR をした。家庭の CO2 削減はなかなか難しい。

(委員)

継続して周知すると市民がわかりやすいと思う。

(事務局)

平成 30 年度実行計画で、平成 28 年度の市民一人当たりの CO2 排出量が 1,007 kg—CO2、平成 27 年度は 1,042 kg—CO2 だった。ほんの僅かだが一人当たりの排出量は減っている。

(委員)

令和元年度計画の No.54「福生市環境マネジメントシステム (F・e)」だが、市の施設だけを考えると気温により、エネルギー使用量はものすごく変わってくる。気温を考慮し長年データをとっていくと、その指標がこの年は平均気温が何度上がったからエネルギー使用量がこれくらい増え、この年は何度低かったから減ったとなる。その辺も併せて今後考えていただくとわかりやすいのではないか。

(事務局)

平成 30 年度は防災食育センターが 1 年間稼働した年だった。計画上の想定よりも CO2 排出量が多く、平成 30 年度の目標値を上回った。2、3 年状態を見る必要があるという監査報告をいただいた。また、猛暑で市民利用施設のエネルギー使用量が増えたという状況もある。

(会長)

その年の気温によってもずいぶん夏の状況が変わってくる。

長年やってみないと分からないが、コメントとして昨年は非常に危険な暑さだったと注釈をつけるなりして対処するとよい。

(委員)

以前はお子さんが生まれると木を植えるか別の何かを選べたと思うが、今は木を植えることは選択できなくなったのか。

(事務局)

以前、出生記念樹ということで市の花のツツジか金木犀のどちらかを選んでもらい環境課で差し上げていた。が、年々マンション住まいで庭がない家庭が増え、植える所もなく要らないという声が届き、出生記念樹の代わりに総合窓口課で別のものを配布することに切り替わっている。

(委員)

記念品を選ぶということは難しいのか？

(事務局)

出生記念樹だと環境課の予算になるように、部署別に予算計上する関係で、選ぶのは難しい。

(委員)

植えたい人もいるだろうからご検討を。予算もすごくかかるわけでもないだろうと思う。どちらか選べるようになるといい。

(事務局)

過去、植える所がなく、山梨とか自分の実家に植える人がいた。市内の緑の放出になってしまい、ずいぶん話題になった。

(委員)

広報の余白に目に入る言葉で「買い物袋を持って行こう」とか、レジ袋を減らすためのキャンペーンを1年くらい続けることはできないか。単発でやっても効果がない。レジ袋が必要より多くなると邪魔になり捨てることになるので。

(事務局)

福生では容器包装は透明か半透明の袋に入れているので、何か方策はないかと考えてみたが、それに替わる手段がない。イベントがある度にごみ対策係でマイバッグを配ったり、『マイバッグを活用しましょう』と広報にも掲載している。審議会の意見として広報掲載を担当係に掛け合う。掲載は毎号になるか隔月になるかわからないが。

(会長)

今日初めてご出席の委員の方、ご意見かご感想はあるか。

(委員)

	<p>資料をいただき『環境』という一言の中にこんなにたくさんの事が含まれていると実感した。皆様の意見を聞きじっくり勉強していきたい。いい機会をありがとうございました。</p> <p>(会長)</p> <p>令和元年度実行計画の案はこれでよろしいか。</p> <p>→了承</p> <p>報告（環境基本計画改定委託について）</p> <p>(事務局)</p> <p>福生市の環境基本計画が平成 16 年度から令和 5 年度までの長期の計画であることから、概ね 5 年ごとに中期実施計画を策定している。今回の委託は令和 3 年度から 5 年度までの福生市環境基本計画第 3 期中期実施計画を策定するため、計画に記載する事業量の推定、目標量の設定など計画の作成を検討する基礎資料とすることを目的に、環境に関する市民意識調査を計画しており、委託業者は 8 月のプロポーザルにより決める予定である。市民意識調査の結果については年明け予定の審議会で報告する。</p> <p>(会長)</p> <p>意識調査の結果を審議会で報告していただくということです。</p> <p>(委員)</p> <p>次の環境審議会はいつか。</p> <p>(事務局)</p> <p>年明けの 1 月又は 2 月を想定している。事前に会長、副会長に打診し、皆さまにご案内する。</p>
	<p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行計画は、本審議会の意見を踏まえ、庁議に付した後、市のホームページに掲載し公表する。